

科 目 名

教育心理学 Educational Psychology

2年 後期 2単位 選択

小 原 守 雄

概 要

教育心理学は、生徒の発達や学習を理解し、他者をより望ましい方向へ導くものである。

このため、学習理論や発達理論をふまえ、教育支援や他者支援におけるこころの理解を深める視点から展開する。

学習目標

自己理解をふまえ、人が成長・発達するということがどのようなことか、それを支援する方法論はどのようなものがあるかなどについて探求し、理解を深める。

さらには、現代におけるこころの問題とその支援について基本的な対応を習得できるようにする。

授業計画

- ① 支援と心理学 : 教育心理学とは、関係性
- ② 発達の心理 (3回) : 狼の育てられた子の発達分析、ピアジェ理論、自己同一性
- ③ 学習の心理 : 動横づけ理論
- ④ 知能の測定 : 知能テストの演習
- ⑤ 性格の測定 (2回) : 性格テストの演習
- ⑥ ストレスとこころの健康 : ストレスの測定、対処のしかた
- ⑦ ストレスマネジメント : 呼吸法、リラクゼーション法、自律訓練法
- ⑧ アサーション法 : アサーション法、円滑なコミュニケーション
- ⑨ 不適応行動各論 (3回) : 問題の多様性、不登校、虐待、自殺防止、症候群、その他

授業方法

講義および簡単な演習を行う。授業終了時に、授業のまとめや交流を図るために「フィードバック票」を活用する。なお、毎回5分間の「簡易瞑想法」の演習を行なう。

学習到達度の評価

定期試験、中間試験およびフィードバック票によって学生の理解度を把握する。

評価方法

定期試験 (50点)、中間試験 (30点)、演習 (20点) の合計で評価する。

なお、心理学関係の指定図書を読んだ場合は1冊5点 (上限4冊まで) を加える。

60点に満たなければ、レポートの提出を求める。

教 材

教科書：西村純一・井森澄江 著「教育心理学エッセンシャルズ」ナカニシヤ出版 (2,200円)

履修上の注意

時間厳守。挨拶の励行。授業中は携帯電話の電源を切ること。

心理学関連の読書達成を求める (リストはオリエンテーションの時に配付する)。